

特定機能病院 地方独立行政法人、大阪府立病院機構、大阪国際がんセンター広報誌
「オーアイシーアイだより、2022年冬号」、Osaka International Cancer Institute
季刊、ボリューム5、2022、Winter

Contents

- 2 ページ、 オンラインでも、セカンドオピニオンを実施しています
- 3 ページ、 上段、 臨床検査室に関する国際規格「ISO15189」の認定を取得しました
- 3 ページ、 下段、 カーティー細胞療法「キムリア（商標登録）」を導入しました！
- 4 ページ、 上段、 乳がん術後の放射線治療、女性の診療放射線技師の対応枠が好評です
- 4 ページ、 下段、 スキンケア教室を開催しています！
- 5 ページ、 北海道と合同舘がん教室を開催しました！
- 6 ページ、 患者さんの負担が少ない手術、胃がんの「たんこうしき、ふくくうきょうか胃切除術」をおこなっています
- 7 ページ、 上段、 公式ホームページ、Facebook で最新情報を取得できます
- 7 ページ、 下段、 **【連載】**、はい、こちら「がん相談支援センター」です
- 8 ページ、 ごきふについて

2 ページ、

オンラインでもセカンドオピニオン。 令和3年12月時点で7診療科を実施しています

「セカンドオピニオン」とは、診断や治療選択などについて、現在診療を受けている担当医とは別に、異なる医療機関の医師に「第2の意見」を求めることです。

オンライン・セカンドオピニオンとは？

当センターでは、来院いただく対面方式の面談に加え、オンラインでの面談を実施しています。

『オンライン・セカンドオピニオン』では、『クリニクス』という専用のアプリを使用してパソコンやスマートフォンから、オンラインにて面談を行います。

面談には患者さんご本人のご参加が必須です。

面談時間は30分まで（録画・録音は不可）、CT・MRIなどの画像は画面を共有できません。

★対象となる診療科、対象疾患

消化管内科：食道・胃・大腸がんの内視鏡治療

食道がんの化学療法とレーザー治療

血液内科：白血病・悪性リンパ腫・たはつ性骨髄腫・

骨髄異形成症候群など

消化器外科：食道がん・胃がん・胆管がん・

胆のうがん・肝細胞がん

呼吸器外科：肺がん・きょうまく中皮腫

泌尿器科：前立腺がん・腎細胞がん・尿管がんなど

脳神経外科：悪性および良性脳腫瘍

整形外科：こつなんぶ腫瘍（肉腫）・転移性こつ腫瘍

★お申し込み方法

現在かかっていらっしゃる医療機関にセカンドオピニオンを利用したい旨を伝えていただき、

「大阪国際がんセンター地域医療連携室セカンドオピニオン担当」（〒541-8567 大阪府、大阪市、中央区、大手前3の1の69）へ書類を郵送するようご依頼ください。

必要書類

オンライン・セカンドオピニオン申込しょ（患者記入用）

オンライン・セカンドオピニオン申込しょ（医療機関記入用）

オンライン・セカンドオピニオン同意しょ

- ・お申し込み者の身分証明証のコピー
- ・診療情報提供しょ（紹介状）
- ・検査データ（採血データ、画像所見、病理所見、内視鏡所見など）、画像データ

※お申し込み者が患者さんご本人でない場合のみ、セカンドオピニオン代理申し込み同意しょ、が必要です。

※患者さんご本人以外のかたも面談に参加される場合のみ、面談者リスト、が必要です。

ダウンロードおよび詳細を掲載しているページ、

<https://oici.jp/hospital/patient/onlinesecound/>

オンライン・セカンドオピニオンの流れ

相談者、 患者さん・ご家族 パソコンやスマートフォンを準備

ステップ 1 通常のセカンドオピニオンと同様に書類を揃えて当センターへ申し込みを行う

お申し込み方法

- ・当センターへ直接お申し込み
- ・かかりつけの医療機関から当センターへ郵送

ステップ 2 ・当センターがお申し込みを確認後、担当医師と日程を調整

・日程調整後、予約枠を作成し、お電話にて患者さんに伝達

ステップ 3 ・相談者が CLINICS アカウントを作成

・相談者で当センターが指定した日時に予約を入れる

ステップ 4 ・当センターが患者さんのご予約を確認

ステップ 5 オンライン・セカンドオピニオンの実施（CLINICS にログイン）

患者さんは、セカンドオピニオンの結果を受けて、かかりつけ医へ受診

担当医はセカンドオピニオン情報提供用紙作成

詳細についてはホームページ、内「セカンドオピニオン」に掲載しております

セカンドオピニオンのページ、 <https://oici.jp/hospital/patient/secoundopinion/>

現在、えんぼうにお住まいの患者さんや、病状により、らしいんいただくことが困難な患者さんに利用していただいています。今後も、みなさまが納得して医療を受けられるよう、

セカンドオピニオンに力を入れてまいります。

【お問い合わせ先】、

地域医療連携室 セカンドオピニオン担当 電話 06-6945-1181 (代表)
月曜日から金曜日 午前9時から午後4時 祝日・年末年始を除く

3 ページ、上段、

臨床検査室に関する国際規格「ISO15189」の認定を取得しました

ISO15189 とは、国際標準化機構（International Organization for Standardization）が定めた「臨床検査室の質と能力に関する要求事項」を示す国際規格です。“臨床検査室の技術能力”を決定する手段、で、国際規格に基づき審査が行われます。

現在日本では約 250 施設が認定を受けており、国際ちけんや、がんゲノム医療拠点病院の必須条件になっています。当センターでは、臨床検査科および病理・細胞診断科が、2021 年 5 月に認定を取得しました。

これからも認定を継続できるよう、努力してまいります。

3 ページ、下段、

カーティー細胞療法「キムリア商標登録」を導入しました！

自己の免疫の働きを生かし、がん細胞を攻撃する“免疫チェックポイント阻害剤”（がん細胞が、たくみに免疫から逃れて、生き延びようとするのを阻止する薬）や、免疫機構をドラッグデリバリーシステム（体内での薬物分布を制御し、薬物の効果を最大限にし、副作用を最小限にする技術）として活用する“抗体医薬複合体”（がん細胞を標的とした抗体に抗がん剤を運ばせる薬）など、免疫療法が、がん治療の 4 本目の柱とされています。

カーティー細胞は、T 細胞を体外に取り出し、遺伝子組み換え技術で抗原を攻撃できるよう改変したもので、以前の治療で治せない、なんち性がんを治療します。今回導入したキムリア®は、なんち性の悪性リンパ腫や急性リンパ性白血病に良好な治療成績を示しています。

当センターはワーキンググループを立ち上げ、適切な品質管理のための厳しい監査を通し、昨年秋より導入を開始しました。

既に施行した 2 件の治療経過は良好で、さらに 3 件の治療を予定しています。非常に高額な治療のため、適切な症例選択と安全・高品質なカーティー細胞療法の提供を心掛けます。

4 ページ、上段、

乳がん術後の放射線治療、 女性の診療放射線技師の対応枠が、好評です

放射線腫瘍科では2020年10月より、乳がん術後に放射線治療を受ける患者さんに、女性の診療放射線技師が対応する時間枠（午後3時から4時）を設けています。

運用から1年で43名の患者さんにこの枠を利用していただきましたが、患者さんからは、「利用してよかった」という好意的な意見が多く寄せられました。

女性の診療放射線技師の対応枠を設定することで、患者さんの羞恥しんの軽減につながり、より安心して治療を受けていただけたと考えられます。

当センターは、今後も患者さんに寄り添った治療をおこなっていきます。

4ページ、下段、
スキンケア教室を開催しています！

当センターでは、がん治療により皮膚が乾燥することで湿疹やかゆみに悩まされている患者さんやご家族に向けて、気持ちよく過ごしていただくことを目的として『スキンケア教室』を開催しています。

奇数月の金曜日のうち一日、午後2時から3時に、患者さんが気軽にできるスキンケアについて実演を交えて紹介しています。新型コロナウイルス感染症の影響により、今年度はしちがつに開催後中止していましたが、よんか月ぶりに入院患者さん限定にて再開いたしました。

11がつよっかのスキンケア教室では、活発な質問が飛び交い、大変有意義な時間になりました。

まず、腫瘍皮膚科の医師より「手足症候群について」と題し、抗がん剤に関して、家事など日常生活における注意点や、靴選びについてお話いたしました。続いて、看護師より「保湿ケアの方法、フローズングローブの紹介」と題し、保湿剤の使いかたやスキンケアのポイントについて実演を交え解説いたしました。

最後に、当センター利便施設のヘアサロンより「ヘアケアから頭皮ケアについて」と題し、脱毛に関することやシャンプーの仕方について人形を使った実演を交えながら説明いたしました。

次回開催予定の2022年3がつ18にちも、多くの患者さんに参加いただければ幸いです。

5ページ、
北海道と合同膵がん教室を開催しました！

肝胆膵内科副部長・膵がん教室代表 いけざわ けんじ

このたび 2021 年 11 がつ、はつかに、北海道膵がん教室・パンキャンジャパンのみなさまと、合同膵がん教室を開催いたしました。

当センターの膵がん教室は、2015 年より毎月第三水曜日にセンターないで開催しておりましたが、コロナの影響で、最近参加者を当センターの入院患者さん限定にしており、参加人数が限られておりました。今回の合同膵がん教室では、入院患者さんの現地参加にオンラインでの視聴を加え、ハイブリッド形式で開催させていただき、北海道の会場と合わせ 200 名を超える多数の方々にご参加いただきました。

教室の内容としましては、総長の松浦からのあいさつの後、膵がんの 3 大治療である内科治療・外科治療・放射線治療について、各領域の専門医師から講演をさせていただきました。まずいけざわから膵がんの抗がん剤治療および最新の遺伝子診療についてお話しし、続いて、北海道大学大学院、消化器げかがく教室 II の なかむら とおる先生から膵がんの外科治療についてお話をさせていただきました。最近のトピックである Conversion Surgery（手術が難しいと考えられていた患者さまが抗がん剤などの治療の結果、手術できるようになること）についても詳しくご説明いただきました。また当センター放射線腫瘍科主任部長のこにからは V M A T（強度変調回転照射法 Volumetric Modulated Arc Therapy の略で、回転照射と IMRT（強度変調放射線治療）を組み合わせた照射法です。回転しながら腫瘍の形状に合わせて強弱をつけて照射を行うことで、腫瘍周囲の正常組織の放射線量を低減し腫瘍に高線量を照射することが可能で、IMRT よりも高精度に短時間で照射することができます）など、より精細に病変に照射するように工夫された最新の放射線治療についてご説明いたしました。

治療に対する講義の後には、理学療法士の加藤がリフレッシュタイムと題してその場でできるストレッチを紹介し、参加者のみなさまにリラックスしていただきました。その後、副看護師長の八木・佐藤、管理栄養士の岡崎から、“膵がんと上手な付き合いかた”や、“日常生活の注意点や、食事を楽しむうえでのコツ”などについて、具体的にアドバイスさせていただきました。会の後半のパネルディスカッションではパンキャンジャパン理事長の眞島様に司会をお願いし、患者さん・ご家族から事前に寄せられた多数のご質問に対して、演者から直接回答させていただきました。

合同膵がん教室開催後の反響としましては、患者さん・ご家族を含めた多数の参加者のみなさまから、“今後の治療について前向きになれた”、“とても勉強になった”、など好評のお声を頂きました。貴重な情報発信の場をつくることができ、開催して本当に良かったと思っております。

当センターの膵がん教室は、たくさんの職種のメンバーが連携してひとつのチームとして活動できることが強みと考えております。今後もこの強みを生かして、情報発信の機会を

さらに増やしていけたらと考えておりますので、今後ともご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

6 ページ、
患者さんの負担が少ない手術、

胃がんの「たんこう式ふくくうきょうか胃切除術」をおこなっています

消化器外科胃外科長の大森医師は、胃がんを一つの小さな傷から手術する「たんこう式ふくくうきょうか胃切除術」にて、わが国で最も多い 500 例を超える手術を行い、これまでよりも患者さんの負担が少ないことを証明し、国際学会雑誌に掲載されました。

胃がんの手術

かつては、おなかを大きく切り直接手で手術を行い、麻酔から覚めると切った箇所がしばらく痛み、15 センチメートル程度の傷が一生残りました。やがて、おなかを大きく切らず小さな穴を 5~6 カ所あけ、くだを挿入する「ふくくうきょう手術」が開発されました。これは、数センチメートルの傷が数カ所残るだけで術後の痛みも軽減されるので、患者さんの負担が少ないです。

さらに、今回の研究で 1 カ所のみ穴をあける「たんこうしきふくくうきょうか胃切除術」が優れた術式であることが分かりました。当センターでは、年間 250 から 300 例の胃切除じゅつのうち従来のおなかを切る手術は 1 割以下になっています。

たんこうしきふくくうきょうか、胃、切除術

「ふくくうきょう手術」は組織を取り出す 2 てん 5 から 3 センチメートルの傷と 1 から 2 センチメートルのすうかしよの傷が残るのに対し、「たんこうしきふくくうきょうか胃切除術」は隠れやすいおへそに 2 てん 5 から 3 センチメートルの穴を 1 カ所しかあけないため、痛みが少なく美容面でも優れています。大森医師はこの「たんこうしきふくくうきょうか胃切除術」を 2009 ねんより世界に先駆けておこなってきました。

比較試験の実施

当センターは、Stage ワンの胃がんの患者さんを対象に「前向き研究」(群分けし将来にわたり追跡を続け、疾病などを比較する研究)により「たんこうしきふくくうきょうか胃切除術」と「ふくくうきょうか胃切除術」を比較し、前者の方が術後の痛みや合併症が少ないと証明し 8 がつに国際学会雑誌『Surgical Endoscopy』に掲載されました。

これは、「後ろ向き研究」(条件が揃わず結果が不十分とされる過去の症例を分析した研究)でしか報告されなかった「たんこうしきふくくうきょうか胃切除術」の有用性を、「前向き研究」で証明した世界初の論文です。安静時や運動時に“どのあたりに痛みがあるか”など、さまざまな因子を調べたことが高く評価されました。

高度な技術を要する「たんこうしきふくくうきょうか手術」

「たんこうしき」は主にかん以外の病気(胆石や虫垂炎)に行われる術式で胃がんの実施報告が少なく、1 カ所の穴からの手術は、手元の手術道具同士がぶつかり動作範囲が制限さ

れ、高度な技術が要求されるため、どの医療機関でもできるわけではありません。当センターでは、ふくくうきょう・手術道具の配置を細やかに設定し、道具同士がぶつからない独自の方法を確立し、海外書籍で紹介しています。

胃がんの手術は、当センターへ

500例以上の「たんこうしきふくくうきょうか胃切除手術」の実績がある医師を有する当センターでは、患者さんに安心して手術を受けていただけたらと考えます。また、2018年から日常診療で使用可能になったロボット支援手術を応用し、「たんこうしきロボット胃切除術」もおこなっています。ロボット支援手術の利点である、先端が曲がるピンセットやハサミを用いると、より簡便に行えると考えています。

当センターでは、患者さんのご要望に合わせて術式を選択できますので、お気軽にご相談ください。

7 ページ、上段、

公式ホームページ、Facebook で最新情報を取得できます

当センターでは、公式ホームページ、のほか、Facebook でもクラシック音楽会やアピエランスケアなどのイベントや講演会といった最新の情報を発信しております。ぜひご覧ください。

ホームページ、

中央の「お知らせ」や、各種パネルより（例、成人病公開講座、アヤ世代サポートチーム、膝がん教室、がんゲノム医療、特別病室のご案内など）、ご興味があるトピックをぜひご覧ください。

また、下方「センター広報誌 オーアイシーアイだより」のアイコンからは、当誌『オーアイシーアイだより』の最新号から過去号までを閲覧いただけます。

大阪国際がんセンターホームページ、 <https://oici.jp/>

Facebook

公式ホームページ、では紹介しきれないタイムリーな情報をお届けしています。今後とも、さらなる有益な情報をお届けできるよう力を入れてまいりますので、みなさまからの心温かい「いいね」や「シェア」を、引き続きお待ちしております。

大阪国際がんセンターFacebook <https://www.facebook.com/OICI.jp>

7 ページ、下段、

【連載】、はい、こちら「がん相談支援センター」です
がん相談支援センター なかむら ひとみ

【ファイル5】、正しいがん情報の探し方

インターネットの発展に伴い、病気のことを気軽に簡単に調べることができるようになりましたが、なかには根拠の乏しいものがあり『いつの情報か』『誰が発信しているのか』『何を根拠にしているのか』など、がん治療の「正しい情報」を判断する力が必要になります。あなたのからだの状態に最も適した治療法や、療養生活の情報を一番多く持つのは担当医です。担当医とよく話し合ったうえで、ご自身で情報を得る際は、がんの診断・治療方法・病院検索・制度やサービスなど、さまざまな情報を調べることができる、国立がん研究センターがん対策研究所の『がん情報サービス』をまずご参照ください。ここでは、がん情報を探すときの10のポイントをご紹介しますのでご活用ください。

がん情報を探すときの10のポイント

- 1、情報は、ちから。あなたの療養を左右することがあります。活用しましょう。
- 2、あなたにとって、いま必要な情報は何か、考えてみましょう。

- 3、あなたの情報を一番多く持つのは主治医。よく話してみましよう。
- 4、別の医師の意見を聞く「セカンドオピニオン」を活用しましよう。
- 5、医師以外の医療スタッフにも相談してみましよう。
- 6、がん拠点病院の相談支援センターなど、質問できる窓口を利用しましよう。
- 7、インターネットを活用しましよう。
- 8、手に入れた情報が本当に正しいかどうか、考えてみましよう。
- 9、健康食品や補完代替医療は、利用する前によく考えましよう。
- 10、得られた情報をもとに行動する前に、周囲の意見を聞きましよう。

出典：「がん情報さがしの10カ条」 国立がん研究センター がん対策情報センター（現：がん対策研究所）

「がん情報サービス」 国立がん研究センター がん対策研究所ホームページ、
<https://ganjoho.jp/public/index.html>

何か不明な点があれば、お気軽にがん相談支援センターまでお声がけください。

面談（対面での相談） 病院1階 6番窓口 相談支援センター受付でお申し出ください
相談受付時間：月曜日から金曜日（祝日・年末年始を除く）午前くじから午後ごじ

がん相談ホットライン、06-6945-1870（直通）

電話対応時間、月曜日から金曜日、祝日・年末年始を除く、午前じゅうじから午後よじ

ごきふについて

きふしゃごほうめい 2021 ねん 10 がつから 12 がつ 受領日順／ご希望者のみ掲載

くらた くにお様、やなぎた さかえ様、まえはた 秋實様、さとう いさむ様、たにがわ
ひでこ様、株式会社ヨコタ商店 代表取締役 根木 淳成様、株式会社ヨコタぎけん 代表
取締役 よこた しょうこ様、おう かねい様、ひらお かずお様、まつもと ただゆき様、
くろはら ただし様、浜口 やすたか様、おくざき よしお様、つだ やすひで様、たかせ
たえこ様、ふなき みきお様、たかの ゆたか様、たかの はるみ様、かしわ ゆきお様
ほか とくめいしゃ 21 めい

このたびもさまざまな個人や法人の方々から、貴重なごきふを頂きました。ありがとうございます。

この温かいお心遣いに感謝するとともに、このご厚意に報いるべく、これからも患者さんにより良い医療とサービスを提供してまいります。

お申し込み方法など詳細はホームページ、をご覧ください。

<https://oici.jp/center/effort/donation/>

奥付

オーアイシーアイだより 2022 年冬号〈季刊〉

特定機能病院／地方独立行政法人 大阪府立病院機構 大阪国際がんセンター

発行 大阪国際がんセンター

編集 事務局 総務・広報グループ

〒541-8567 大阪市中央区大手前 3-1-69

TEL 06-6945-1181 (代表)

2022 年 2 月発行

◆電車でご来院の場合

大阪メトロ「たにまち四丁目駅」北改札口から徒歩約 5 分／京阪電車「天満橋駅」東改札口から徒歩約 10 分

◆お車でご来院の場合

東大阪線「ほうえんざか出口」より約 5 分／東大阪線「もりのみや出口」より約 8 分

【提携駐車場】、

- ① エコロパーク大阪府庁駐車場
- ② 谷町筋地下駐車場（入り口は北向き 1 カ所のみ）

補助けんも同伴いただけます

ホームページ、 <https://oici.jp/>

フェイスブック <https://www.facebook.com/OICI.jp>